

ゆとり

第49号

発行日：2021年1月22日

発行：広報委員会 院外広報部門

TOPICS

TOPICS 1

当院医師紹介（院長/理事長/副院長）

TOPICS 2

脳卒中について



TOPICS 1

当院医師紹介

●院長



銚子市においても少子高齢化が急速に進む中、島田総合病院は一昨年8月より地域包括ケア病床を立ち上げ、地域の医療連携を強化しながら高齢化対応をしてまいりました。

そのような中、新型コロナウイルス感染症が突如猛威を振るい医療界全体にも多大なダメージを与え、ほとんどの医療機関が未だに影響を受け続けている状況です。

当院においても、発熱診療室の設置やオンライン（電話）診療を開始する等、感染予防策を一層強化し、地域の皆様方が安心して受診できるよう、より安全な医療体制を構築してまいりました。

昨年の取り組みを継続しつつ、在宅医療や急性期病院として、当院に求められる質の高い入院医療の強化を目指し、地域医療に貢献する所存でございます。

本年も当院のスローガンであるユーザーフレンドリーな病院を目指し銚子市民に愛され、頼りになる病院となるように進んでいきたいと思っております。



医療法人積仁会島田総合病院 院長 嶋田 一成



医療法人積仁会
島田総合病院

〒288-0053 千葉県銚子市東町5番地の3

☎ 0479-22-5401 FAX 0479-23-3613

ホームページ <http://www.shimada-hsp.or.jp/>Facebook <https://www.facebook.com/shimada.hsp/>

当院ホームページ用QRコード

● 理事長



しまだ まさる
嶋田 賢

当院では、地域の基幹病院として高い機能を有し、患者さまやご家族に信頼され、愛され、満足していただける質の高い医療とホスピタリティ（思いやり）を提供することを理念としており、最新の医療情勢を受け入れつつ、医療人が求める医療の質向上、患者満足度の向上に力を注いでいます。先人の知識や技術を今に継承し、医療従事者の士気を高めつつ、医療の模範となる病院づくりをめざして、今後も活動することを切望するものであります。

● 副院長



しまだ ひさし
嶋田 久

【得意分野および今後力を入れたいこと】

- ①上、下部消化管疾患（胃、大腸疾患）、鼠経ヘルニア
 - ②肝臓、胆のう、すい臓疾患
 - ③甲状腺、乳腺疾患
- 上記疾患の早期発見・早期治療に尽力したい。

【地域医療に対する思い】

地域の方々に最新の治療を心を込めて行っていきたい。

【趣味】 囲碁 ゴルフ



しまだ たかし
嶋田 隆

【得意分野および今後力を入れたいこと】

- ①一般内科
- ②認定産業医として、各企業の職員が健康で快適な作業環境のもとで仕事が行えるよう、専門的立場から指導・助言を行う活動を勧める。
- ③人間ドック認定医として、今後は「健康寿命向上」の取り組みを視野に、予防医学センターの精度を目指す。

【地域医療に対する思い】

訪問診療医師として、「患者さんの地域生活を支える」ための地域医療に取り組む。

【趣味】 ゴルフ 旅行 園芸



うちだ しんべい
内田 伸平

【得意分野および今後力を入れたいこと】

- ①総合内科専門医 ②人工血液透析 ③神経内科

【地域医療に対する思い】

慢性腎不全にて症状が無くともCERが6.5mg/dlを超える場合は、紹介にて来院いただければ、その後の加療継続をさせていただきます。

【趣味】 マジック



ちかもり まさやす
近森 正康

【得意分野および今後力を入れたいこと】

- ①内視鏡全般の治療、特に胆管炎治療や大腸がんに対するステントなどを行っています。
- ②在宅での看取りなども積極的に行っています。

【地域医療に対する思い】

地域の医療連携に興味があり、地域包括ケア病床の管理を行っています。

【趣味】 映画鑑賞（プロジェクターを買いました）

● 脳卒中とは

脳の中の血管に起こる病気で「がん」「心筋梗塞」などとならび日本人の死亡原因の上位です。また寝たきりになるリスクも非常に高い疾患です。

種類は大きく分けて「脳出血」「くも膜下出血」「脳梗塞」に分類されます。

脳出血

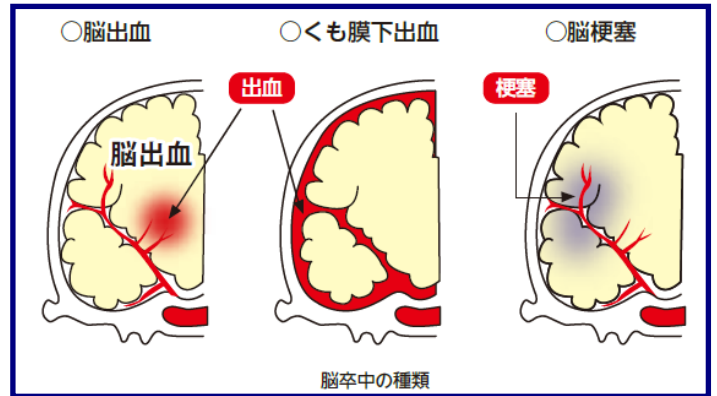
さまざまな原因で起こりますが、もっとも多いのは高血圧によるものです。

くも膜下出血

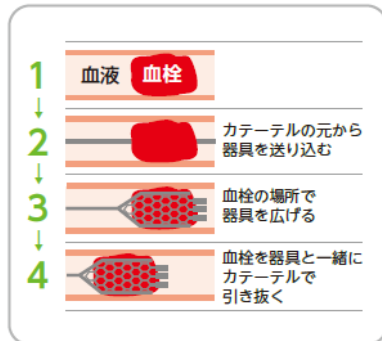
脳の表面にある「くも膜」という薄い膜と脳の表面との間には大きな血管が走っています。その血管に動脈瘤という膨らみができ、それが破裂する病気です。また外傷により破裂することもあります。

脳梗塞

脳の血管が細くなったり、血管に血栓（血のかたまり）が詰まったりして脳に酸素や栄養が送れなくなり、脳細胞が障害を受ける病気です。

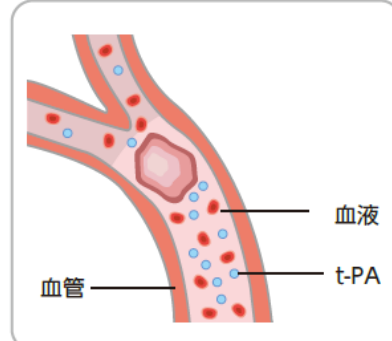


● 治療について



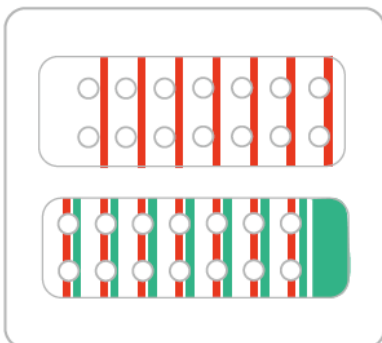
血管内治療

血管にカテーテルを入れて血栓をとる



t-PA療法（血栓溶解療法）

点滴で薬剤を注入し血栓を溶かす



投薬（抗凝固剤・抗血小板薬・血流改善薬など）

血液をサラサラにしたり、脳の血流を良くする薬



リハビリテーション

麻痺や構音障害などの症状を改善し、日常生活を送れるようにする。

●早期発見と対応

こんな症状があったら119番！しましょう



片方の手足や顔半分の
マヒ・しびれが起こる
(手足のみ、顔のみの
場合もある)。



ロレツが回らない、
言葉が出ない、
他人の言うことが
理解できない。



片方の目が見えない、
物が二つに見える、
見ているものの
半分が欠ける。



経験したことのない
激しい頭痛がする。



力はあるのに、
立てない、
歩けない、
フラフラする。

出典:公益社団法人日本脳卒中協会

- 脳卒中の治療は**時間との闘い**です。
- 上記に示すような症状があったら、**ためらわず病院へ受診**しましょう。
自分で運転が困難な場合は家族に送ってもらうようにしましょう。
必要に応じて救急車を呼びましょう。
- 大切なことは「いつ・どこで・どんな状況であったか」を医師などの関係者に的確に伝えることです。
- 早期に発見し、的確な治療ができれば回復の可能性が高くなります。
- ご自身だけでなく、ご家族の体調の変化にも気を付けましょう。